

ご挨拶

～ 中部地方整備局 総括防災調整官 吉川 昌宏 ～

令和8年4月より、総括防災調整官に着任しました吉川です。また、日頃より、中部地方整備局の防災に関する業務に対しご理解・ご協力いただくほか、特に、防災エキスパートの皆さま方には、合同巡視、意見交換会など各種防災にかかわる活動を通して、貴重なご意見をいただきありがとうございます。

さて、近年の災害に目を向けますと激甚化・頻発化する気象災害に加え、南海トラフ地震などの大規模地震が切迫するなど、発災時には、地域の安全と経済活動を維持していくことが私たちの大きな課題となっていることは言うまでもありません。

昨年度の管内の気象災害の1つとし、9月の台風15号の大雨及び竜巻により、静岡県内で道路冠水や広域での停電が発生し、自治体支援として照明車両の派遣や、搭載される発電機を活用した電源支援を実施してきました。

また、地震に関しては、令和6年8月の「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」発表、令和7年3月には、南海トラフ巨大地震に関する新たな被害想定を約10年ぶりに見直しが行われました。このような背景から、現在、私どもは、中部圏地震防災基本戦略の第四次改定に着手し巨大地震に対する備えの拡充を図っているところです。

こうした中、国土交通省の防災・減災の取り組みについては、令和7年5月に「災害対策基本法等の一部を改正する法律」が成立しました。改正法においては、国による地方公共団体に対する支援体制の強化と、協定団体や民間の方々など様々な主体と連携をより一層強化することが盛り込まれています。

この法改正を踏まえ、支援体制強化の一環として、TEC-FORCE 予備隊員を、民間企業等から35名を任命し研修等を実施するほか、TEC-FORCE パートナーとして広域的な被災自治体支援時に TEC-FORCE と一体的に協定企業と活動できる体制の確保を進めています。

加えて、TEC-FORCE の活動範囲に関しては、災害以外の事由による地方公共団体等への支援も可能となり、令和7年5月に発生した愛知県の入鹿池へ自衛隊飛行機の墜落案件における資機材派遣についても、TEC-FORCE 活動として実施しました。

今後も、私たちは、地震や豪雨等における災害に対し、ソフト面、ハード面で備えを着実に進めていく必要があります。そして、事前準備も含めた防災対応は、行政だけでは限度もあり、産学官が一緒になり考え行動していくほか、住民も含め国全体で防災意識を高めていくことが重要と考えます。

こうしたことから、豊富な知識や経験がある防災エキスパートの皆さまのご協力を引き続き賜りたいと考えております。

最後に、防災を「自分事」と捉え、皆さんと連携し、地域の安全に貢献できるよう共に取り組んでいく所存でありますので、引き続き、ご支援ご協力をお願い申し上げます。



総括防災調整官
吉川 昌宏

○河川重要水防箇所合同巡視に参加

出水期を前に、各河川における重要水防箇所の合同巡視が行われ、各地区の防災エキスパートが参加しました。

※ すべて敬称略

▶ 浜松河川国道事務所

5月20日（火）菊 川 6名：太田 聡、栗田 市松、
藤永 稔、杉山 紀行、菊井 幹男、
杉野 浩文

21日（水）天竜川 5名：杉山 紀行、新村 孝行、
松井 正己、高橋 正行、杉野 浩文

22日（木）天竜川 3名：鷹野 弘行、高橋 正行、
杉野 浩文

▶ 庄内川河川事務所

5月20日（火）土岐川 2名：小河 俊美、尾畑 功

22日（木）庄内川 5名：小河 俊美、境 道男、
塩冶 康人、尾畑 功、臼田 文昭

26日（月）庄内川 2名：笹森 伸博、臼田 文昭

▶ 沼津河川国道事務所

5月21日（水）狩野川 5名：工藤 隆、長島 郁夫、
落合 綱三、中川 晋吾、村野 幸弘

26日（月）狩野川 3名：村野 幸弘、佐野 純一、
宮林 辰雄

▶ 豊橋河川事務所

5月21日（水）豊 川 1名：角田 隆司

29日（木）豊 川 2名：牧野 正博、倉島 佐貴夫

▶ 三重河川国道事務所

6月10日（火）雲出川 5名：佐藤 久則、笠井 泰宏、
西村 栄司、井田 理、奥川 佐

12日（木）鈴鹿川 5名：中西 三男、梶川 利満、
久保 雄一、谷口 孝司、川下 正一

17日（火）宮 川 5名：長澤 宏和、下里 武司、
下村 卓、井田 理、奥川 佐

18日（水）櫛田川 5名：和田 光広、堀江 勝樹、
牛場 久典、井田 理、奥川 佐



○水防演習・防災訓練に参加

➤ 令和7年度 木曽三川連合総合水防演習

令和7年5月25日（日）前夜の雨で足元の悪い中、長良川右岸鵜飼い大橋下流河川敷（岐阜市長良雄総町地先）において、「令和7年度木曽三川連合総合水防演習」が開催され、67団体から約1,500名の方が参加しました。

中部地域づくり協会は、防災エキスパートによる災害報告や展示ブースでの出展を行いました。災害報告では、3名の防災エキスパートが参加し、堤防点検報告訓練を行いました。

日 時：令和7年5月25日(日) 9:00～12:00

場 所：岐阜県岐阜市長良雄総地先

（長良川右岸鵜飼い大橋下流河川敷）

参加者：3名 堀江 幸生、白木 久也、三浦 彰夫



➤ 令和7年度 大規模土砂災害を想定した合同防災訓練

令和7年6月5日（木）、長野県木曽郡南木曽町の南木曽会館において、国及び関係自治体をはじめとする関係機関等により、大規模土砂災害を想定した防災訓練が開催されました。

中部地域づくり協会は、2名の防災エキスパートが参加し、防災エキスパートが災害時に担う役割等についての説明などを行いました。

日 時：令和7年6月5日(木) 13:30～15:30

場 所：長野県木曽郡南木曽町 南木曽会館

参加者：2名 三輪 勝弘、早坂 清



○地区代表者会議、地区別意見交換会、

災害発生時における活動の円滑化や、平時からの防災活動等を通じた連携や情報共有等による「顔の見える関係の構築」のため、防災エキスパート地区代表者と地整防災対策マネジメント室による地区代表者会議、及び地整各事務所と各地区防災エキスパートとの地区別意見交換会が開催され、災害発生時や平時における支援活動内容等について、活発な意見交換が行われました。

【地区代表者会議】

実施日	参加人数
R7.6.27	防災エキスパート地区代表 : 8名 中部地整防災対策マネジメント室 : 5名 事務局支部及び事務局（中部地域づくり協会） : 11名

【地区別意見交換会】

地区	実施日	関係事務所等	参加人数
岐阜県西濃	R7.6.3	木曽川上流、越美砂防、 木曽川ダム統管	防災エキスパート：23名 国交省職員：22名
静岡県西部	R7.7.10	浜松河川国道	防災エキスパート：17名 国交省職員：10名
静岡県中部	R7.9.3	静岡河川、静岡国道、長島ダム	防災エキスパート：18名 国交省職員：12名
静岡県西部	R7.9.10	長島ダム	防災エキスパート：9名 国交省職員：5名
飛騨	R7.9.16	高山国道	防災エキスパート：5名 国交省職員：11名
三重県北勢・中南勢	R7.10.6	三重河川国道、木曽川下流、 北勢国道、紀勢国道	防災エキスパート：33名 国交省職員：17名
名古屋 （庄内川）	R7.10.31	庄内川河川	防災エキスパート：6名 国交省職員：6名
三河	R7.11.14	豊橋河川	防災エキスパート：9名 国交省職員：8名
静岡県西部	R7.12.17	浜松河川国道	防災エキスパート：9名 国交省職員：8名
長野県	R8.2.4	天竜川上流、飯田国道、 天竜川ダム統管	防災エキスパート：12名 国交省職員：8名



静岡県西部地区（R7.7.10）



三重県北勢・中南勢地区（R7.10.6）



三河地区（R7.11.14）

「中部地方防災エキスパート制度」とその他制度の区分

制度名	中部地方防災エキスパート制度	河川等災害アドバイザー制度
設立	平成8年3月	平成19年8月
事務局	(一社)中部地域づくり協会(公益活動)	(一社)中部地域づくり協会(公益活動)
活動内容	自主的に公共土木施設や市街地の状況を目視確認し、担当事務所へ情報連絡	応急復旧工法に対する中部地方整備局職員への技術的助言
要件	公共土木施設の被害状況等について把握ができる者(国交省・県OB、民間)	河川等施設の災害復旧の専門的ノウハウを有する者(国交省OB)
活動形態	自主活動もしくは中部地方整備局からの要請	中部地方整備局からの要請
活動のタイミング	災害初動時	応急復旧時
専門性等	公共土木施設等の整備、管理経験に基づく	河川等施設の災害復旧の経験に基づく

中部地域づくり協会HP/防災に関する事業 より

(一社)中部地域づくり協会の災害支援制度

令和3年4月1日

支援内容により二つの制度があります

【河川等災害アドバイザー】

河川等災害アドバイザー

河川等施設の災害復旧についての経験を持ち適切にアドバイスできる者

風水害等による大規模災害発生時に、直轄の河川等の災害応急対策のアドバイザーとして支援活動を行う。

防災エキスパート

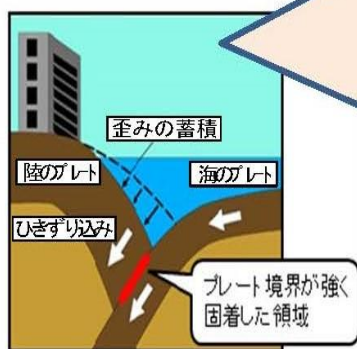
【防災エキスパート】

公共土木施設等の整備・管理等についての専門的な技術を持つ者

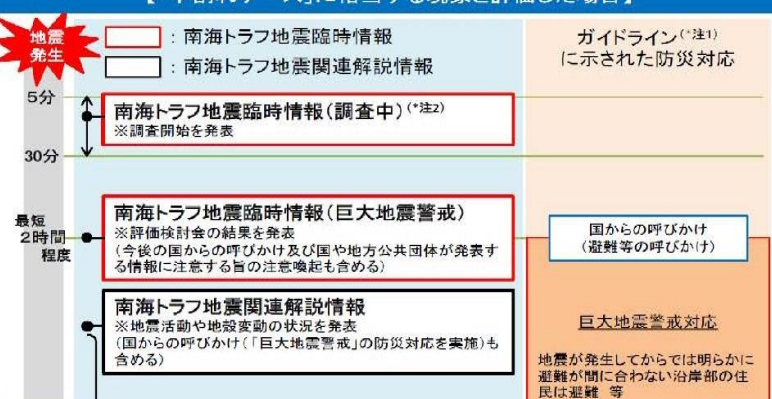
災害が発生又は発生する恐れがある場合に、ボランティアとして行政機関等の防災協力活動を行う。

「南海トラフ地震に関連する情報」の名称について

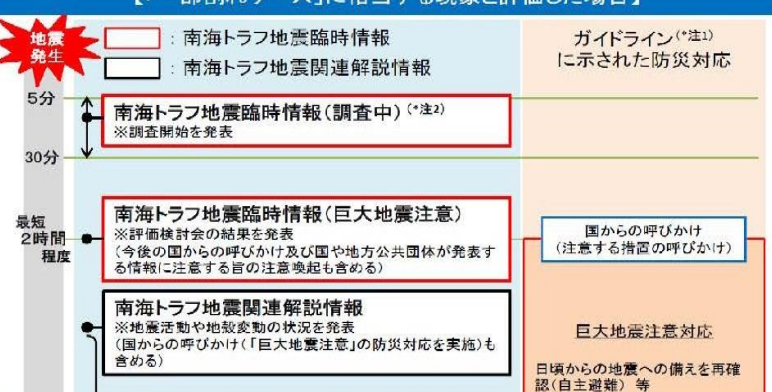
平成31年3月29日気象庁では、「防災対応検討ワーキンググループ」の報告書を踏まえ、南海トラフ沿いで発生した異常な現象の観測結果や分析結果を発表する情報の名称を決定しました。



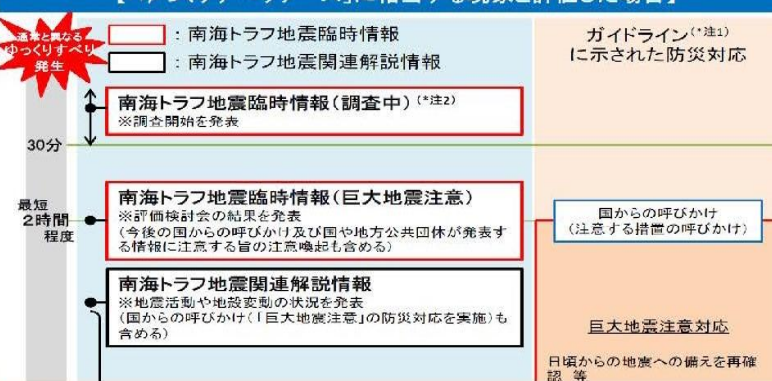
南海トラフ沿いの異常な現象への新たな防災対応を踏まえた情報発表の流れ 【「半割れケース」に相当する現象と評価した場合】



南海トラフ沿いの異常な現象への新たな防災対応を踏まえた情報発表の流れ 【「一部割れケース」に相当する現象と評価した場合】



南海トラフ沿いの異常な現象への新たな防災対応を踏まえた情報発表の流れ 【「ゆっくりすべりケース」に相当する現象と評価した場合】



～ 防災エキスパート会員登録状況 ～
令和8年3月31日現在 232名

加入・退会、勤務先等変更のある方は、下記事務局までご連絡下さい。

発刊：中部地方防災エキスパート運営支援事務局

(一社) 中部地域づくり協会 企画技術部

名古屋市中区丸の内三丁目5番10号 名古屋丸の内ビル8階

TEL052-962-2227 FAX052-950-1178